

(資料 4)

再評価結果の地区別個表

1 箇所名	ひないさわ 比内沢林道
2 所在地	東北森林管理局 秋田森林管理署角館事務所管内 (秋田県)
3 事業名	森林保全整備事業
4 事業着手時の目的・方針	森林資源の活用，間伐の推進，造林事業の実施及び国有林野の管理経営に資する林道の開設
5 事業対象地区の状況 関連公共施設等の概要 森林・林業情勢及び社会経済情勢 事業の進捗状況 (進捗率)	なし ・利用区域森林面積 (採択要件 1 , 0 0 0 ha以上) 事業着手時 1 , 7 6 0 ha 現 在 1 , 7 6 0 ha 計画延長 1 4 . 0 km 実施延長 8 . 9 km (6 4 %)
6 地元 (地方公共団体) の意向	当該地域の森林の多面的機能をより高度に発揮させるためにも，計画的な林道の開設を要望 (秋田県) 当林道の利用向上のためにも，早期開設を要望 (西木村)
7 再評価結果の概要	本路線は開設以来，国有林野事業の管理経営に大きな役割を果たしてきたところであるが，今後の開設予定区間の沿線及びその周辺には，伐期に達したスギ人工林があり，林道を開設することにより一層効率的な森林の整備，林産物の搬出が可能となる。 更に，森林の公益的機能維持増進及び資源の有効活用を図る上で林道の整備が必要であり，今後も事業を継続する。

再評価結果の地区別個表

1 箇所名	こくろかわ 小黒川林道
2 所在地	東北森林管理局 秋田森林管理署大曲事務所管内（秋田県）
3 事業名	森林保全整備事業
4 事業着手時の目的・方針	森林資源の活用，間伐の推進，造林事業の実施及び国有林野の管理経営に資する林道の開設
5 事業対象地区の状況 関連公共施設等の概要 森林・林業情勢及び社会経済情勢 事業の進捗状況（進捗率）	なし ・利用区域森林面積（採択要件50ha以上） 事業着手時 726ha 現在 726ha 計画延長 8.7km 実施延長 7.7km（89%）
6 地元（地方公共団体）の意向	当該地域の森林の多面的機能をより高度に発揮させるためにも，計画的な林道の開設を要望（秋田県） 早期開設の推進を要望（協和町）
7 再評価結果の概要	本路線は開設以来，国有林野事業の管理経営に大きな役割を果たしてきたところであるが，今後の開設予定区間の沿線及びその周辺には，間伐期を迎えたスギ人工林があり，林道を開設することにより一層効率的な森林の整備，林産物の搬出が可能となる。 更に，森林の公益的機能維持増進及び資源の有効活用を図る上で林道の整備が必要であり，今後も事業を継続する。

再評価結果の地区別個表

1 箇所名	くるみ ^{たいら} 平林道
2 所在地	東北森林管理局 山形森林管理署管内（山形県）
3 事業名	森林保全整備事業
4 事業着手時の目的・方針	森林資源の活用，間伐の推進，造林事業の実施及び国有林野の管理経営に資する林道の開設。
5 事業対象地区の状況 関連公共施設等の概要 森林・林業情勢及び社会経済情勢 事業の進捗状況（進捗率）	なし ・利用区域森林面積（採択要件50ha以上） 事業着手時 271ha 現在 271ha 計画延長 3.0km 実施延長 0.7km（23%）
6 地元（地方公共団体）の意向	利用地域内森林の適正な管理及び地域林業の振興に重要な路線であり早期完成を要望。（山形県） 国有林野の適切な管理のため，早期完成を要望。（大江町）
7 再評価結果の概要	本路線は開設以来，国有林野の管理経営に大きな役割を果たしてきたところであるが，今後の開設予定区間の沿線及びその周辺には，間伐期を迎えたスギ人工林があり，林道を開設することにより，一層効率的な森林の整備，林産物の搬出が可能となる。 更に森林の公益的機能維持増進及び資源の有効活用を図る上で林道の整備が必要であり，今後も事業を継続する。

再評価結果の地区別個表

1 箇所名	みつめない 三ツ目内林道
2 所在地	青森分局 津軽森林管理署大鰐事務所管内（青森県）
3 事業名	森林保全整備事業
4 事業着手時の目的・方針	本路線の利用区域1,818haの高蓄積森林資源を利用する目的から伐採と造林が計画されたことを受け、林産物の搬出及び造林事業の実施並びに国有林野の維持管理に資する林道の開設
5 事業対象地区の状況 関連公共施設等の概要 森林・林業情勢及び社会経済情勢 事業の進捗状況（進捗率）	なし ・利用区域森林面積（採択要件1,000ha以上） 事業着手時 1,818ha 現在 1,818ha 計画延長 14.8km 実施延長 10.4km（70%）
6 地元（地方公共団体）の意向	下流域の水質汚濁及び自然環境の保全に十分配慮をお願いする。 （青森県） 特になし（大鰐町）
7 再評価結果の概要	本路線の利用区域は、間伐期を迎えた人工林と、活力が衰え世代交代を要する天然林であり、森林の機能分類として水土保持林（水資源かん養タイプ）及び資源の循環利用林に位置づけられている。 よって、人工林においては健全な森林を造成するための間伐、天然林においては後継樹育成促進等のための択伐が必要であるので、森林の適正な維持管理等のための基盤整備として、本事業を継続する。

再評価結果の地区別個表

1	箇 所 名	ななまがり 七 曲林道 おおさか 大坂支線
2	所 在 地	関東森林管理局 磐城森林管理署富岡事務所管内（福島県）
3	事 業 名	森林保全整備事業
4	事業着手時の目的・方針	当該区域は皆伐対象林分であり，林道開設により森林資源の充実と地域振興に資する。
5	事業対象地区の状況 関連公共施設等の概要 森林・林業情勢及び社会経済情勢 事業の進捗状況（進捗率）	なし ・利用区域森林面積（採択要件50ha以上） 事業着手時 165ha 現 在 165ha 計画延長 2.0km 実施延長 1.1km（55%）
6	地元（地方公共団体）の意向	特になし（広野町） 流域管理システム推進の観点から森林の公益的機能の高度発揮及び流域林業の活性化を図る上でも，当該林道のより一層早期完成を望む。（福島県）
7	再評価結果の概要	当該林道の利用区域は資源循環利用林で，すでに伐期に達した林分が多くあり，この林分を伐採するに当たり搬出経費の削減を図るためには，林道は必要不可欠であり，伐採後の更新等に当たっても経費の縮減が図れること等から，林道網の整備は重要であり継続事業として実行する。

再評価結果の地区別個表

1 箇所名	おおなさわ 大名沢林道
2 所在地	関東森林管理局 塩那森林管理署矢板事務所管内（栃木県）
3 事業名	森林保全整備事業
4 事業着手時の目的・方針	当該区域は製品生産対象林分であり，林道開設により森林資源の充実と地域振興に資する。
5 事業対象地区の状況 関連公共施設等の概要 森林・林業情勢及び社会経済情勢 事業の進捗状況（進捗率）	なし ・利用区域森林面積（採択要件50ha以上） 事業着手時 291ha 現在 291ha 計画延長 10.0km 実施延長 4.6km（46%）
6 地元（地方公共団体）の意向	特になし（塩谷町） 流域一体となった森林整備を推進し，森林の有する多面的機能を高度に発揮するためにも，林道等の基盤施設の整備が重要であり，着実な事業の執行を望む。（栃木県）
7 再評価結果の概要	当該林道の利用区域は，資源の循環利用林であり，主伐対象林分が大部分である。したがって，主伐の伐採搬出に当たっての経費の削減，更新等に当たっては通勤時間の短縮等，適切な保育管理が可能となり，次世代の良質な森林の造成に不可欠であること，及び地域林業の振興に寄与することから，継続して事業を実行する。

再評価結果の地区別個表

1 箇所名	つがわあかたに まつのさわ 津川赤谷（松野沢）林道
2 所在地	関東森林管理局 村松森林管理センター管内（新潟県）
3 事業名	森林保全整備事業
4 事業着手時の目的・方針	当該地域は主伐，間伐対象林分であり，林道開設により土倉支線に連結することで，行地地域と新谷地域が連絡するようになり，健全な森林を造成するとともに，森林資源の充実と地域開発に資する。
5 事業対象地区の状況 関連公共施設等の概要 森林・林業情勢及び社会経済情勢 事業の進捗状況（進捗率）	なし ・利用区域森林面積（採択要件1，000ha以上） 事業着手時 3，827ha 現在 3，827ha 計画延長 27.0km 実施延長 23.0km（85%）
6 地元（地方公共団体）の意向	当該地域の森林は，水源かん養をはじめ公益的な機能が強く，民生安定のため，上流域の国有林と下流域の民有林とが一体となり，森林の機能が高度に発揮されるような整備が期待されている。また，事業計画には排水工や擁壁工等が適切に配置されていることから国土保全上も支障がないと判断される（新潟県） 広域林道として連結することにより，災害発生時の緊急迂回路として有効であり，また，健全な森林を造成するためにも林道の作設を望む。（三川村）
7 再評価結果の概要	生育良好で間伐期に達した林分が利用区域内に多くあり，早期に間伐を実施することにより健全な森林を育成することができる。また，間伐材の販売が可能となるほか，一部伐期に達した林分の搬出経費の縮減，他の道路との接続により緊急時の迂回路となるので，事業を継続する。

再評価結果の地区別個表

1 箇所名	くまなしせん 熊穴支線
2 所在地	東京分局 茨城森林管理署大子事務所管内（茨城県）
3 事業名	森林保全整備事業
4 事業着手時の目的・方針	森林資源の活用，造林事業の実施，間伐の推進及び国有林野の管理に資する。
5 事業対象地区の状況 関連公共施設等の概要 森林・林業情勢及び社会経済情勢 事業の進捗状況（進捗率）	なし ・利用区域森林面積（採択要件50ha以上） 事業着手時 192ha 現在 192ha 計画延長 4.3km 実施延長 2.5km（58%）
6 地元（地方公共団体）の意向	・計画地の下流に本村の水道施設があるため，工事の際に土砂等の流出に十分留意されたい。（里美村） ・森林の公益的機能の維持増進を図る上で必要であり，また，民有林林道との連絡により，山林火災，自然災害時等において相互に活用することができるため，事業を継続する必要がある。（茨城県）
7 再評価結果の概要	間伐の推進と適切な森林の整備を図り，健全な森林を育成することにより，水源かん養機能の維持増進を図る必要がある。また，下流には里美村の取水口等の水道施設があることから，より水源かん養機能を高めるため適切な森林の整備が必要。 また，民有林林道に連結することにより，山林火災，自然災害時等において相互に活用できることになり，迂回路としての機能が発揮されることから，事業を継続する。

再評価結果の地区別個表

1	箇 所 名	さかたい 坂泰林道 おおたい 大泰支線
2	所 在 地	近畿中国森林管理局 和歌山森林管理署管内（和歌山県）
3	事 業 名	森林保全整備事業
4	事業着手時の目的・方針	森林資源の活用，造林事業の実施，間伐の推進及び国有林野の管理に資する林道の開設
5	事業対象地区の状況 関連公共施設等の概要 森林・林業情勢及び社会経済情勢 事業の進捗状況（進捗率）	なし ・利用区域森林面積（採択要件50ha以上） 事業着手時 239ha 現 在 239ha 計画延長 4.8km 実施延長 2.5km（52%）
6	地元（地方公共団体）の意向	林道網の早期完成により，周辺民有林林道と国有林が連携し，流域林業を一層推進していくことを強く要望する。（中辺路町）
7	再評価結果の概要	健全な森林の維持管理及び流域林業の推進のため，事業の継続が必要と判断される。

再評価結果の地区別個表

1	箇 所 名	やすばたに 休場谷林道 2 5 5 線
2	所 在 地	四国森林管理局 嶺北森林管理署管内（高知県）
3	事 業 名	森林保全整備事業
4	事業着手時の目的・方針	森林資源の活用，造林事業の実施，間伐の推進及び国有林野の管理に資する林道の開設。
5	事業対象地区の状況 関連公共施設等の概要 森林・林業情勢及び社会経済情勢 事業の進捗状況（進捗率）	なし ・利用区域森林面積（採択要件 5 0 ha 以上） 事業着手時 1 6 5 ha 現 在 1 6 5 ha 計画延長 1 . 5 km 実施延長 0 . 8 km （ 5 3 % ）
6	地元（地方公共団体）の意向	林道開設については，今後の林業の発展を図っていく上において必要不可欠なものであり，美しい自然環境を損なわない配慮をしながら継続することが妥当と考える。（本川村）
7	再評価結果の概要	事業の継続実施。 本路線はこれまでも森林資源の活用等に役立っているところであるが，今後の開設予定区間は，間伐を推進するとともに，森林を適切に保全管理するうえから整備が必要であり，地元村の要望を踏まえ，自然環境の保全に留意しながら事業を継続することが妥当である。

再評価結果の地区別個表

1 箇所名	葛籠 ^{つづらたに} 谷林道 3 1 支線
2 所在地	四国森林管理局 嶺北森林管理署管内（高知県）
3 事業名	森林保全整備事業
4 事業着手時の目的・方針	森林資源の活用，造林事業の実施，間伐の推進及び国有林野の管理に資する林道の開設。
5 事業対象地区の状況 関連公共施設等の概要 森林・林業情勢及び社会経済情勢 事業の進捗状況（進捗率）	なし ・利用区域森林面積（採択要件 2 0 0 ha 以上） 事業着手時 2 5 6 ha 現在 2 5 6 ha 計画延長 4 . 0 km 実施延長 1 . 4 km （ 3 5 % ）
6 地元（地方公共団体）の意向	林道開設については，今後の林業の発展を図っていく上において必要不可欠なものであり，美しい自然環境を損なわない配慮をしながら継続することが妥当と考える。（本川村）
7 再評価結果の概要	事業継続の継続実施。 本路線はこれまでも森林資源の活用等に役立っているところであるが，今後の開設予定区間は，間伐を推進するとともに，森林を適切に保全管理するうえから整備が必要であり，地元村の要望を踏まえ，自然環境の保全に留意しながら事業を継続することが妥当である。

再評価結果の地区別個表

1 箇所名	みずうら 水浦林道
2 所在地	九州森林管理局 大分西部森林管理署管内（福岡県）
3 事業名	森林保全整備事業
4 事業着手時の目的・方針	森林資源の活用，造林事業の実施，間伐の推進及び国有林野の管理に資する林道の開設
5 事業対象地区の状況 関連公共施設等の概要 森林・林業情勢及び社会経済情勢 事業の進捗状況（進捗率）	なし ・利用区域森林面積（採択要件50ha以上） 事業着手時 188ha 現在 188ha 計画延長 5.6km 実施延長 1.9km（34%）
6 地元（地方公共団体）の意向	自然環境と地理的条件を考慮し，計画を進めていただきたい。（小石原村）
7 再評価結果の概要	今後の開設予定区間の利用区域は，間伐対象林分が多く，森林の公益的機能の維持増進及び資源の有効利用を図る上で林道の整備が必要となっている。 併せて，森林の管理経営上重要と判断されることから今後も事業を継続する。

再評価結果の地区別個表

1 箇所名	かみのこや 上の小屋林道
2 所在地	九州森林管理局 宮崎北部森林管理署管内（宮崎県）
3 事業名	森林保全整備事業
4 事業着手時の目的・方針	森林資源の活用，造林事業の実施，間伐の推進及び国有林野の管理に資する林道の開設
5 事業対象地区の状況 関連公共施設等の概要 森林・林業情勢及び社会経済情勢 事業の進捗状況（進捗率）	なし ・利用区域森林面積（採択要件50ha以上） 事業着手時 614ha 現在 614ha 計画延長 6.6km 実施延長 2.6km（39%）
6 地元（地方公共団体）の意向	施工時の土砂流出や災害防止等に留意し，河川の濁水防止に努めてほしい。（椎葉村・宮崎県）
7 再評価結果の概要	今後の開設予定区間の利用区域は，間伐対象林分が多く，森林の公益的機能の維持増進及び資源の有効利用を図る上で林道の整備が必要となっている。 併せて，森林の管理経営上重要と判断されることから，今後も事業を継続する。

再評価結果の地区別個表

1 箇所名	伊比井林道
2 所在地	九州森林管理局 宮崎南部森林管理署管内（宮崎県）
3 事業名	森林保全整備事業
4 事業着手時の目的・方針	森林資源の活用，造林事業の実施，間伐の推進及び国有林野の管理に資する林道の開設
5 事業対象地区の状況 関連公共施設等の概要 森林・林業情勢及び社会経済情勢 事業の進捗状況（進捗率）	なし ・利用区域森林面積（採択要件50ha以上） 事業着手時 973ha 現在 973ha 計画延長 10.1km 実施延長 7.8km（77%）
6 地元（地方公共団体）の意向	特になし（日南市）
7 再評価結果の概要	今後の開設予定区間の利用区域は，間伐対象林分が多く，森林の公益的機能の維持増進及び資源の有効利用を図る上で林道の整備が必要となっている。 併せて，森林の管理経営上重要と判断されることから，今後も事業を継続する。

再評価結果の地区別個表

1 箇所名	しか 四家林道
2 所在地	九州森林管理局 宮崎森林管理署都城支署管内（宮崎県）
3 事業名	森林保全整備事業
4 事業着手時の目的・方針	森林資源の活用，造林事業の実施，間伐の推進及び国有林野の管理に資する林道の開設
5 事業対象地区の状況 関連公共施設等の概要 森林・林業情勢及び社会経済情勢 事業の進捗状況（進捗率）	なし ・利用区域森林面積（採択要件50ha以上） 事業着手時 245ha 現在 245ha 計画延長 5.4km 実施延長 4.7km（87%）
6 地元（地方公共団体）の意向	広葉樹の森づくりを推進しているため，広葉樹の伐採には十分配慮してほしい。 林道開設に伴い，土砂崩壊等が発生しないような工法を実施してほしい。（高城町）
7 再評価結果の概要	今後の開設予定区間の利用区域は，間伐対象林分が多く，森林の公益的機能の維持増進及び資源の有効利用を図る上で林道の整備が必要となっている。 併せて，森林の管理経営上重要と判断されることから，今後も事業を継続する。

再評価結果の地区別個表

1	箇 所 名	よ <u>う</u> ら 四浦林道
2	所 在 地	九州森林管理局 宮崎南部森林管理署串間事務所管内（鹿児島県）
3	事 業 名	森林保全整備事業
4	事業着手時の目的・方針	森林資源の活用，造林事業の実施，間伐の推進及び国有林野の管理に資する林道の開設
5	事業対象地区の状況 関連公共施設等の概要 森林・林業情勢及び社会経済情勢 事業の進捗状況（進捗率）	なし ・利用区域森林面積（採択要件1，000ha以上） 事業着手時 1，202ha 現 在 1，202ha 計画延長 12.0km 実施延長 9.7km（81%）
6	地元（地方公共団体）の意向	切り取り法面の保全や土砂流出防止対策及び貴重な動植物への配慮等環境保全に十分留意していただきたい。 コスト縮減に努め，当該路線の早期完成を図るとともに，工事施工中の土砂流出防止対策に万全の措置をとっていただきたい。（鹿児島県）
7	再評価結果の概要	今後の開設予定区間の利用区域は，間伐対象林分が多く，森林の公益的機能の維持増進及び資源の有効利用を図る上で林道の整備が必要となっている。 併せて，森林の管理経営上重要と判断されることから，今後も事業を継続する。